

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

特別会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	堺市高齢者世話付住宅(シルバーハウジング)生活援助員派遣事業			シート番号	A 一般事務事業 11-071
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	地域包括ケア推進 課 評価責任者(課長名) 阿加井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	無
	2	事業開始年度	平成 11 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	介護保険法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	国土交通省と厚生労働省の共管事業として、高齢者の住まいの安定を図るため実施された。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	生活指導・相談、安否の確認、一時的な家事援助、緊急時の対応等のサービスを必要とする高齢者で市内のシルバーハウジングに入居している者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	市内のシルバーハウジングに入居している高齢者が安心して暮らせることを目的とする。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	市内のシルバーハウジングに入居している高齢者世帯に生活援助員を派遣して、生活指導・相談、安否の確認、一時的な家事援助、緊急時の対応等のサービスを提供する。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () (福)南の風、(福)関西福祉会、(福)大阪府社会福祉事業団				

Ⅲ. 投入量

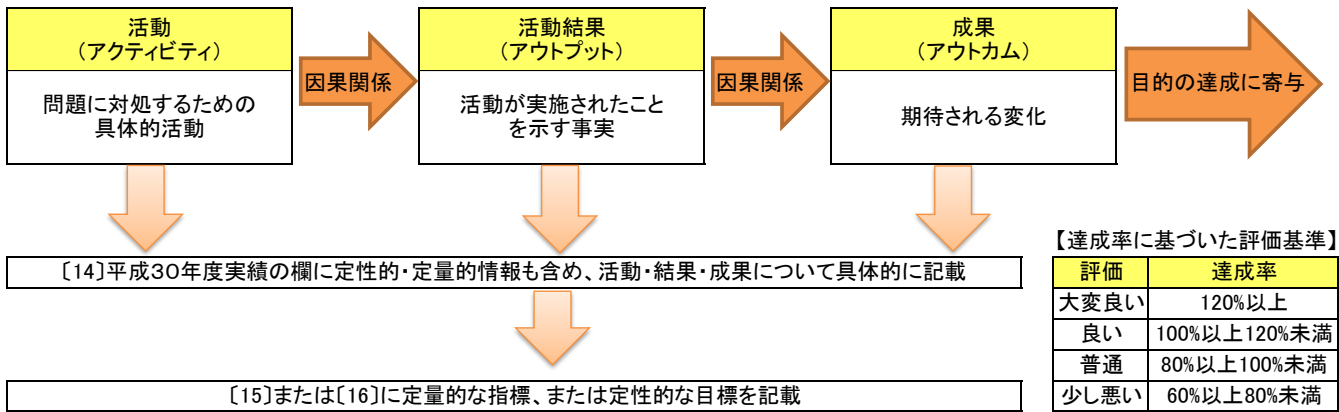
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	6,282	7,499	7,482	7,482	
	主な事業費内訳	委託料	千円	6,282	7,482	7,482	7,482
		その他	千円		17		
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円	3,674	4,387	4,321	4,321
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他(第1号被保険者保険料)	千円	1,384	1,650	1,721	1,721
		一般財源	千円	1,224	1,462	1,440	1,440
	12 人件費 (b)	千円	82	82	82	81	
	13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	6,364	7,581	7,564	7,563	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	堺市高齢者世話付住宅(シルバーハウジング)生活援助員派遣事業	シート番号	11-071
-------	--------------------------------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>シルバーハウジングの入居者に対して、生活援助員を派遣し、下記のサービスを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生活指導及び生活相談 ②入居者の安否確認 ③一時的な家事援助 ④入居者による自主活動や交流会の支援 ⑤緊急時の対応 ⑥関係機関等との連絡 ⑦そのほかの日常生活上必要な援助 <p>その結果、シルバーハウジング入居者の安心安全な暮らしの確保につながった。</p>						
	15	派遣回数	回	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
				目標値	-	-	-	-
				実績値	247	247	247	-
				達成率	-	-	-	-
				評価	-	-	-	-
			算出方法・設定根拠など					
			あらかじめ目標を設定する性質でないため、派遣回数を実績値として計上している。					
	16	派遣戸数	戸	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
				目標値	-	-	-	-
			実績値	71	71	71	-	
			達成率	-	-	-	-	
			評価	-	-	-	-	
		算出方法・設定根拠など						
		あらかじめ目標を設定する性質でないため、派遣戸数を実績値として計上している。						

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	
17	市内のシルバーハウジング入居者に対して、生活援助員を派遣し、生活指導・相談・安否の確認、緊急時の対応等のサービスを提供することにより、入居者の安心安全な暮らしの確保につながっている。	

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。